

## いのちとくらしを守れ！国民本位の新しい社会を！

本日、私たちは「いのちとくらしを守る」ために、この集会に集まりました。

自公政権の下で、労働者の賃金は実質引き下げが続き、消費税増税、年金や生活保護の引き下げ、医療・介護・保育・福祉などの社会保障の改悪、高学費などで、子ども・学生・青年から高齢者まで国民の生活や中小業者の経営が大変になっています。さらに、自公政権のコロナ災害への対応の遅れで、その実態は深刻です。

菅首相は、違憲、違法の日本学術会議会員の任命を拒否しました。現政権の政策に反対する勢力を排除、攻撃するもので、「学問の自由」を脅かすだけでなく、立憲主義、民主主義を脅かすもので、絶対許せません。ただちに任命すべきです。

菅自公政権は、自己責任を押しつけ、軍事費を増やし「国民のいのちとくらし」を壊す2021年度予算や、75歳以上の医療費一部負担金の値上げなどの「全世代型社会保障改革」を進めようとしています。また、財界の意向に沿って、デジタル庁をつくり、マイナンバーカードを普及し、社会保障費の抑制、ビックデータを国や民間でも利活用させ、「監視社会」を作ろうとしています。

本日は、菅自公政権の下で、厳しい暮らしを強いられている学生、中小業者、高齢者、労働者の実態が報告され、いのちとくらしを守ろうと声をあげているとりくみが発言されました。

国民のいのちとくらしを守るために、新型コロナウイルス感染症の収束やその災害への対策は待ったなしです。いまこそ、国民本位の予算や政策、政治が求められています。

総決起集会に集まった私たちは、菅自公政権の暴走をストップさせ、いのちとくらしを守る運動をいっそう強めることを確認しました。それぞれの分野の仲間たちと団結してたたかきましょう。来るべき総選挙で、市民と野党の共同で、菅自公政権に変わる国民本位の新しい政治を作りましょう！

私たちの、いのちとくらしを守るために!!